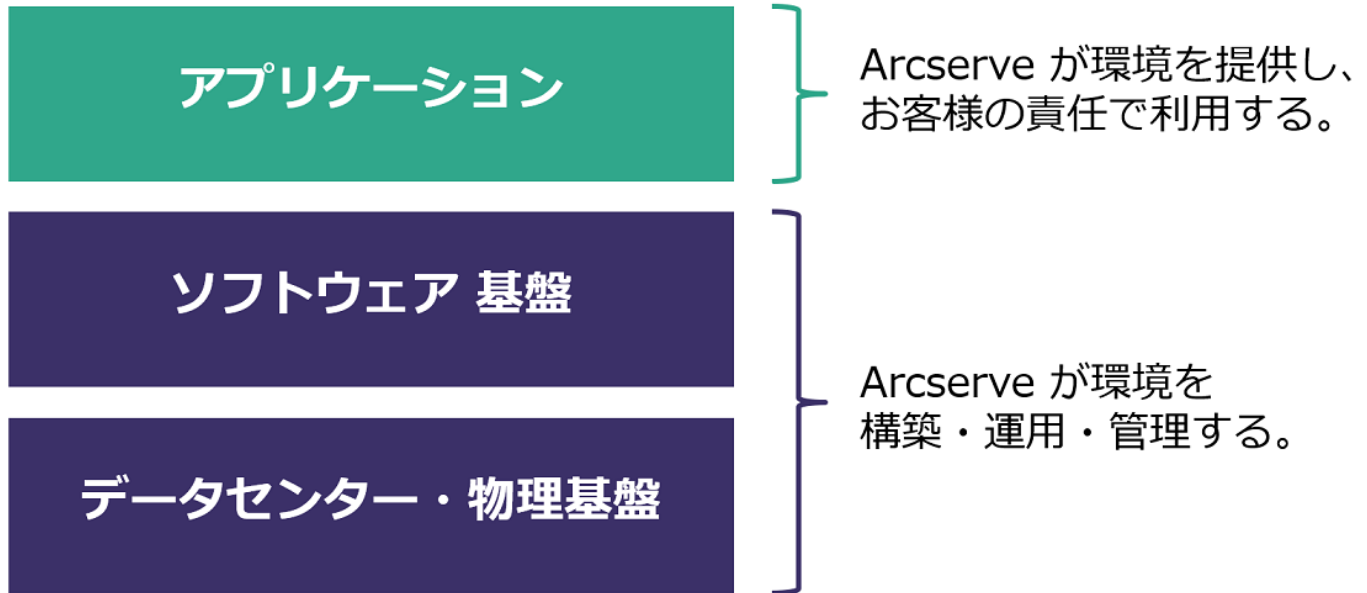


## Arcserve Business Continuity Cloud の責任分界点

Arcserve Business Continuity Cloud は Arcserve が提供するデータ保護のためのクラウド サービスの総称です。Arcserve が各種アプリケーションの利用環境を提供し、お客様は自身の責任においてそれらを利用します。



この資料は、上記の図における「アプリケーション」層でのお客様と Arcserve の責任分界点を明確にすることを目的としています。以下、Arcserve Business Continuity Cloud の各種サービスにおける、両者の役割を例示とともに解説します。

## Arcserve Email Archiving Cloud

Arcserve Email Archiving Cloud は Arcserve Email Archiving のサーバをお客様にご提供し、電子メールのアーカイブを行えるサービスです。

お客様には Arcserve Email Archiving サーバの管理者アカウントが提供され、その権限範囲の中で Arcserve Email Archiving を利用・管理できます。

以下、お客様および Arcserve がそれぞれの責任で行う操作を例示します。

お客様	<ul style="list-style-type: none"><li>・管理者アカウントで行えることすべて（例：他のユーザの作成。保持ポリシーの設定。）</li><li>・メール サーバでの転送設定</li><li>・マイグレーション（一括移行）のコマンド実行および対象メールのアップロードと結果の確認</li></ul>
Arcserve	<ul style="list-style-type: none"><li>・マイグレーション作業を除く Super Admin でしか行えない作業</li><li>・Arcserve Email Archiving のバージョンアップ、修正モジュール適用などのソフトウェアの構成変更作業</li><li>・お客様からの問い合わせを起点とした、トラブル シューティングの支援</li></ul>

※ Arcserve Email Archiving の役割と各役割での権限については以下をご覧ください。

- ・ Arcserve Email Archiving 6.5 管理者ガイド - ユーザの役割とアクセス レベル

[https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Email-Archiving/Available/JPN/Bookshelf\\_Files/HTML/adm/default.htm#ArchAdmin/sys\\_roles\\_and\\_access.htm](https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Email-Archiving/Available/JPN/Bookshelf_Files/HTML/adm/default.htm#ArchAdmin/sys_roles_and_access.htm)

## Arcserve UDP Cloud Hybrid

Arcserve UDP Cloud Hybrid は Arcserve UDP がプリインストールされたサーバをお客様にご提供し、Arcserve UDP のバックアップデータの複製や、Microsoft 365 のバックアップ、仮想スタンバイ/インスタント VM の起動ができるサービスです。

お客様には Arcserve UDP Cloud Hybrid 上にインストールされた Arcserve UDP の管理者アカウントが提供され、その権限範囲の中で Arcserve UDP Cloud Hybrid を利用・管理できます。

以下、お客様および Arcserve がそれぞれの責任で行う操作を例示します。

お客様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールで行えることすべて（例：レプリケート プランの作成。ジョブの実行結果の確認。）</li><li>・ ポイント対サイト VPN クライアントのインストールと設定</li><li>・ VPN ゲートウェイ（お客様サイト側）の設定</li><li>・ Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で動作する代替仮想マシン（OS/アプリケーション）の設定および操作</li></ul>
Arcserve	<ul style="list-style-type: none"><li>・ VPN サーバ（Arcserve UDP Cloud Hybrid 側）の設定</li><li>・ Arcserve UDP Cloud Hybrid 上の Arcserve UDP のバージョンアップ、修正モジュール適用などのソフトウェアの構成変更作業</li><li>・ お客様からの問い合わせを起点とした、トラブルシューティングの支援</li></ul>

## Arcserve UDP Cloud Direct

Arcserve UDP Cloud Direct はクラウドへのインターネット経由でのバックアップ、クラウド上での代替 VM の起動ができるサービスです。Arcserve Cloud Console というクラウド上のコンソールで設定・管理を行います。

お客様には Arcserve Cloud Console にアクセスするためのアカウントが提供され、その権限範囲の中で Arcserve UDP Cloud Direct を利用・管理できます。

以下、お客様および Arcserve がそれぞれの責任で行う操作を例示します。

お客様	<ul style="list-style-type: none"><li>・Arcserve Cloud Console の MSP またはエンドユーザー アカウントで行えることすべて (例: ポリシーの作成。ジョブの実行結果の確認。)</li><li>・バックアップ対象マシンへのエージェントのインストール</li><li>・Arcserve UDP Cloud Direct 上で動作する代替仮想マシン (OS/アプリケーション) の設定および操作</li><li>・ (Active Directory オプションを利用する場合) Arcserve UDP Cloud Direct 上に作成された Active Directory サーバと既存の Active Directory ドメインの同期</li><li>・ポイント対サイト VPN クライアントのインストールと設定</li></ul>
Arcserve	<ul style="list-style-type: none"><li>・お客様からの依頼に基づき DRaaS 用ボリュームを作成</li><li>・お客様からの依頼に基づき Active Directory サーバを作成して有効化</li><li>・お客様からの問い合わせを起点とした、トラブルシューティングの支援</li></ul>